

# 水辺の景観

## 水と結ぶ生活 近江八幡市

豊かな水辺の景観に人々は集い、癒やされる。琵琶湖に浮かぶ島では水の恵みに支えられた暮らしがあり

愛しい懐かしさが漂っていた。

内湖が形づくった

水郷地帯では

ヨシ群落の中、

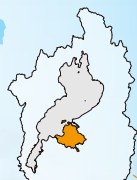
屋形船が揺れる。

近江八幡市の人々は

水と共に暮らし、

その多様な姿を守り

巧みに共存してきたのだ。



近江八幡市

琵琶湖

沖島 伊崎寺

長命寺 近江八幡の水郷

近江八幡市

沖島では琵琶湖八珍がすべて揃える



### 琵琶湖とその水辺景観 - 祈りと暮らしの水遺産



日本が世界に誇る「たから」である文化・伝統のストーリーを認定する「日本遺産」。高度な「水の文化」が認められ平成27年4月に認定された。

詳しくは日本遺産滋賀HPにて <http://ja.biwako-visitors.jp/japan-heritage/>

### 湖と生きる

#### 沖島の暮らし

沖島港にはいくつもの漁船が係留されている。手入れされた網、多様な漁法に合わせた道具の数々。島民と琵琶湖との結びつきの強さが見てとれる。漁業は島民の暮らしを支えてきた。「水の恩恵を受けているから、ずっと琵琶湖を守ってきたい」と強く思う。「沖島町離島振興推進協議会会長の茶谷文雄氏は故郷の風景を眺め、言う。島の時間はゆっくり流れ、学校に通う子どもたちの笑い声が聞こえてくる。」



手入れされた漁網が並ぶ

### 水郷景観を守る

#### ロマンの水田

西の湖を中心とした水郷にはヨシ地が広がり、水鳥が集う、美しい水郷の景観だ。この内湖には「権座」という島状の水田が浮かぶ。船でしか渡れない権座では、農作業体験の催しや、様々なイベントが行われている。また、権座産の酒米から日本酒をつくるなど、積極的に魅力を発信している。この活動を企画する、白王町、権座・水郷を守り育てる会事務局長の、大西實氏は、「権座に人が集まり、若男女が交流を深めている。それが本当にうれしい」と語る。人と水、人と人を結ぶ、ロマンの地だ。



田舟で収穫物や農機具などを運ぶ



水郷に浮かぶ権座

### まだありますこの地域の水遺産



長命寺

干拓前、湖に囲まれていたという長命寺は湖岸から808段の石段を登ると本堂へたどり着く。本堂は琵琶湖を見渡すことができる景勝地に建つ。室内では千手観音が湖と、その民を静かに見守っている。



長命寺からみた景色



長命寺参詣曼荼羅

安土桃山時代初期の作。船で参詣する巡礼者が描かれている。



伊崎寺

「水は命。育むもの。」住職の上原行照(うえはらぎょうしょう)氏と言う。伊崎寺では、毎年8月1日の千日会に、水面から7mの高さに突き出した棹から、琵琶湖へと飛び込む棹飛びという捨身修行が行われる。母なる湖へと身を捨て、また生まれ変わる。新たな命を生む行事として行われてきた。

